

Kitano High School Tokyo Alumni Newsletter

RIKURYO

東京六稜会会報

秋

2017
10.31

第60回東京六稜会総会
当番期リポート

新シリーズ/
多士済々

「六稜剣友会」の
活動

東京六稜俳壇

母校からの風

ブラタモリ風ビデオ、ドローン撮影、自己紹介カードなど、サプライズ満載の総会

記念すべき第60回東京六稜総会が6月17日(土)、東京神保町の学士会館において開催され、例年を超える242名もの同窓生にご参加いただき、60周年を祝いました。私たち当番期の1年にわたる準備の舞台裏と併せて、当日の様子をご報告しましょう。



◆時には海外とチャットを通じて重ねた議論

2016年6月19日、第59回総会において、97期より当番期のタスキを受け取りました。当日参加した98期のほとんどが総会に出席したのも初めての状況で、Facebookの同級生のグループに募集をかけたところ、初期の企画メンバー10名が立候補で集まりました。



まず初めに、97期と総務委員会の方々より基本的な準備の進め方を教えてもらい、98期で記念の会にふさわしい企画の立案をスタート。年に1度の総会で皆さんが求めているものは何か？ また東京六稜会がさらに発展するために必要なものは何か？ と話し合い、それは北野高校を軸にした「世代を超えた繋がり」であろうという結論に至りました。

では、その繋がりを総会&懇親会の場でどのように作るかを、会議形式で、時には海外と東京をビデオチャットで結びながら真剣に議論を重ねました。その結果、多くの新しい



試みを含めた企画を準備し、総会の当日を迎えました。企画の一例を当日の様子と合わせてご紹介します。

◆総会を盛り上げた数々のアイデア

まず受付では、東京六稜会で作成した「60周年記念タオル」とともに、一体感を生み出すため「六稜バッジ」と当日



のプログラムや講演会の内容、参加者名簿など情報満載の「特製しおり」のプレゼントです。そして本物の北野のチャイムが鳴り、総会がスタートしました。



総会では、太田省三・東京六稜会会長(77期)から、60周年と還暦を迎えた本同窓会がさらに発展するために、3つのコンセプト(①伝統の継承、②新しい風、③卓越性の追求)を示されました。

次に今年は記念の回ということで、『文武両道と社会貢献』をテーマに、「文」と「武」の2つの講演で北野卒業生の活躍ぶりの紹介です。「文」の講演者は、国立感染症研究所ウィルス第三部長の竹田誠さん(98期)。長年の夢であった小児科医を辞め麻疹ウィルスの研究に心血を注いだ理由と、未来を担う子供たちを守るために予防接



種を2回受けることの重要性を、実例を挙げながら分かりやすく話されました。「武」は、楽天野球団事業本



部長であった佐野憲一さん(98期)。楽天イーグルスを、何もないゼロの状態から立ち上げ、東日本大震災を経て、地元のファンの方々とともに優勝するまでの感動のお話を、笑いを交えて聴かせてくれました。お2人とも、ポイントを押さえた引き締まった内容で、「もっと聞きたい」という声が多く上がっていました。

◆歓声が巻き起こったドローン撮影

懇親会会場に移ってすぐに、当番期が皆さんを記念写真撮影のため会場の前方に誘導します。「しゃがまなくていいの?」「全員写るの?」などの戸惑いの声が上がると、忽然と現れた『ドローン』に一同大歓声!! 冒頭の、全員が笑顔の記念写真が撮れました。サプライズ大成功でした。

講演会とドローンの興奮が冷めやらぬ中、懇親会がスタート。皆さんには、ご自身で記入された自己紹介カードを首から下げていただきました。自己紹介カードに記された出身地、部活や趣味などの共通項をきっかけに、各テーブルでは当番期が準備したファシリテーターが不要なほどの盛り上がりを見せていました。



懇談の合間には、ブラタモリ風の手作りビデオで、当番期生が現在の十三や北野高校を紹介します。今もなお昔と変わらないもの、消えてしまったもの…映し出される映像に、皆さんからは懐かしさや寂しさの声が上がっていました。母校から遠く離れた東京にいるからこそ、よりセンチメンタルな気分になるひとときとなりました。

このような企画のほかに、北野高校の歴史の展示ボードや、制服のボタン、旧校舎のタイルといった北野グッズの販



売所など、昔を思い出す仕掛けを多数用意しました。会場のあちこちでは、久しぶりに再会した同級生同士や自己紹介カードで知り合った人同士で記念写真を撮る姿が見受けられ、会場全体が笑顔とにぎやかな会話に包まれました。



お帰りの際の皆さんの笑顔を見ていると、「世代を超えた繋がり」を作ろうとした私たちの思いが伝わった!と確信し、この1年間の苦勞が報われる思いでした。この総会を実現させた、個性豊かで協力を惜しまない98期の同期生を誇りに思います。



最後になりましたが、ご協力いただいた北野高校関係者各位、六稜同窓会・東京六稜会の皆様、ご多忙の中遠方から足をお運びくださった参加者の皆様に心よりお礼を申し上げます。
(原田佳子・大鐘卓也 98期)

東京六稜会 多士済々

売れる本ではなく出さなければならない本だけを出す。そんな出版社があつていい。



藤原書店

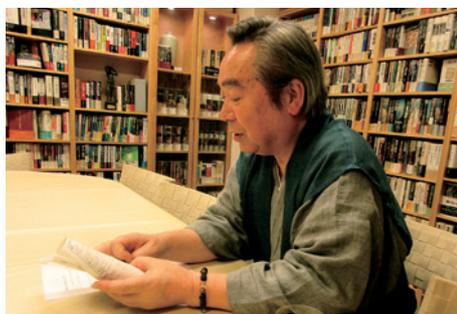
社主 藤原良雄(79期)

PROFILE

大阪市立大学経済学部卒。73年(株)新評論入社、81年から編集長。89年に独立して藤原書店を設立。92年に優れた編集者に与えられる「青い麦編集者賞」受賞、97年にはフランス政府から「芸術文化勲章シュバリエ」を授与される。

「売れない本しか出さない」「それなのになぜかつぶれない」と評されつつ、30年近くも良書を出し続けている小さな出版社がある。

知る人ぞ知る「藤原書店」がそれだ。北野時代も“異端児”であったという藤原さんとは、どんな人物？



高校時代は劣等生、大学時代は雑学

北野2年の時、本当に落第しかけてね。2学期に数学のテストを白紙で出したら担任から転校を勧められた(笑)。さすがにこれではいかんと思って冬休みに猛勉強して、3学期は90点くらい取って落第は回避できました。私は「勉強しろ」などと干渉されるのが嫌なタイプ。だから今でもこうやって、小さな出版社をやってるわけです。自分が出したい本だけを出して、責任も全部自分で取るという、ね。

本格的に本を読み始めたのは大学時代からです。とにかく乱読。なかでも、北野の先輩でもある野間宏や有島武郎、大杉栄、吉田松陰、ホイットマン、そしてマルクスの『資本論』は研究会を立ち上げたりもしました。そんな中、ゼミの教授に薦められ、東京の出版社に就職することになったんです。

上京してから、毎日のように野間宏さんに「お会いしたい」と手紙を書きました。すると1ヵ月ほどして「一度来てください」と連絡が来た。自宅を訪ねて座るなり、ギョロツとした目で、私を5分ほどじーっと見るんですよ。そして第一声、「そこにある『ドイツ・イデオロギー』の〇ページを開いてください。マルクスは「水」についてどう書いていますか?」と。『ドイツ・イデオロギー』は私の愛読書の一冊で何

回も熟読したつもりだったんですが、水についてのくだりは完全に読み落としていた。恐れ入りましたね、野間さんという方は。「全体小説」を掲げた大作家だが、70年代には早々と生命科学に関心を寄せておられた。私の尊敬する知の巨人の一人です。

岩波が作るような本はうちが出す必要がない

91~95年に、全5巻を日本語訳出版したブローデルの『地中海』は、藤原書店の出発点となりました。どの出版社も、大きい、売れないと尻込みする中での出版(原書は1949年初版)で、翻訳者探しから難航しました。ところが1巻8,800円の高価な本が、各巻1万部以上も売れた。この経験から「良書を出せば必ず1万人は読んでくれる」との確信に至りました。

また、後にノーベル賞を受賞する作家の著作も、まだ世に知られていない時期に当社から出版しています。2010年にノーベル平和賞



を受賞した中国の劉曉波、そして2006年にトルコ人として初めてノーベル文学賞を受賞したオルハン・パムク。いずれも受賞前は、他の出版社は目もくれなかった。これらは売れるから出すのではなく、出す必要があるから出した本です。歴史に残る本、人の心に訴える本、読んだ人が「よかった」と言ってくれる本、そんな本を作ることが私の夢です。そしてそんな本は、必ず読者が見つけてくれると信じています。出版社とは実は、読者が創ってくれるものなんですよ。



私が推薦



山上芳昭さん(79期)
「日本の知の潮流」を出版という形で追い求めている人物。この会社の社長室の本棚は、本好きにはたまらない、身震いするようなすごさです。

「多士済々コーナー」では、同窓生でユニークな活動をしている方の推薦をお待ちしています。推薦の一言を添えて、genko@tokyo-rikuryo.com までご連絡ください。

RIKURYO EXCELLENT PEOPLE

アメリカで小児麻酔科医としてキャリアを積みながら、医療ボランティアで世界の国々へ。



あきこ
小児麻酔科 安東聡子(96期)

PROFILE

和歌山県立医科大学医学部卒業後、横須賀の米海軍病院でのインターンを経て、京都大学医学部麻酔科で2年、シカゴ大学病院で4年間研修。エモリー大学で小児麻酔科医として経験を積み、現在ジョージア州アトランタの病院で勤務。2011年から医療ボランティアとして各国を訪れている。1男1女の母。

北野1年生ですすでに「将来は小児科医に」と心を決めていたという安東さんは、現在、アメリカで小児麻酔の専門医として活躍中。多忙な毎日を縫って、休暇を取っては医療ボランティアとして開発途上国へと赴いている。そのバイタリティの源泉を、帰国中の安東さんに伺った。

眼中になかった麻酔科という選択

私は岸和田出身で、地元の中学校から北野に進学したのは私1人だけでした。級友によると当時、私はだんじりのことを熱く語っていたそうなのですが、本人は覚えていないんですよね(笑)。でも、その頃から将来は小児科医になりたいと言っていたのは覚えています。

小児科医をめざした理由は単純で、子供の頃、体が弱くて何度も入院し、その時の小児科の先生がやさしくて憧れたことから。麻酔科は全く眼中になかったのですが、幼いころにお世話になった先生からの助言もあり、京都大学医学部麻酔科で研修し、その後、アメリカに渡って、小児麻酔の専門医としての道を歩むことになりました。

アメリカでは小児科というと、新生児から21歳までが対象になるので、1,000gほどの未熟児から体重100kgも



ガーナにて。安東さんの左は長男・武さん、右は長女・悠希さん

ありそうな少年までの麻酔を担当します。体重も疾患も術式も非常に多様でチャレンジングな仕事ですが、やはり子供はイノセント。病気の子供たちの笑顔を取り戻してあげられるのが、最高のやりがいですね。

小さな子供連れで医療ボランティアへ

高校時代から海外へ行きたいという思いが強く、アメリカでの生活でその夢は実現したのですが、ずっと住



世界から集まった医療ボランティアとともに

んでいるともう海外ではなくなり、もっといろんな世界を見てみたい…と思っていた頃、友人が子供を連れてケニアへ医療ボランティアに参加した時の写真を見せてくれました。さっそく子供連れでもOKのボランティア団体を捜し、2011年、16歳の息子と10歳の娘を連れて赴いたのが、ガーナです。もうすべてが驚きの連続。薬剤も機材も不足する中、酸素ボンベがないためコンデンサーで空気を圧縮して麻酔に使用するという綱渡り経験もありました。

これまでボランティアとして赴いたのは、このガーナのほかにハイチ、ベリーズ、ミャンマーで、計9回に及びます。アメリカや日本なら助かるはずの患者さんを助けることができない。「村で死にたい」という患者さんを見送ることしかできない。そんなジレンマという隣り合わせです。

「そんなに大変なのになぜ行くの?」と聞かれることもあります。でも、帰ってくるとまた行きたくなる。それは、そこに医療の原点があるからではないかと感じています。



北野では合気道部(1年生時)。アメリカで始めた居合いは今も続けている

私が推薦



平田倫子さん(96期)
高校1年生で同じクラス。だんじりと阪神タイガースをこよなく愛し、「風とともに去りぬ」を原語で読んでいた安東さんの活躍に、今も励まされています。

「交剣知愛」の精神で絆を深める剣道部OB・OG会

高校時代に運動部に所属していても、社会人になると継続はなかなか難しいものですが、「生涯剣道」を合言葉にいまも出稽古で汗を流しているのが、北野剣道部のOB・OG会「六稜剣友会」。交流会も活発で、忘年会、花見会などを楽しんでいます。

北野高校剣道部のOB・OG会は、「六稜剣友会」として活動しています。月1回の母校での稽古会や天高戦など、いうまでもなく大阪を拠点とした活動が中心ですが、首都圏在住のOB・OGが増える中、東京においても交流の場を持



とうではないかとの気運が高まり、10数年前から不定期ではありますが、東京エリアでの懇親会を開催するようになりました。最初の開催は2005年。80期の筒井修二先輩と82期の山元茂樹先輩が中心となってお声かけくださり、開催にこぎつけたのです。

当時メルシャンに勤務されていた筒井先輩のご高配により、東京・京橋のメルシャンサロンを会場としてセットしていただきました(残念ながら、現在では閉店となってしまったようですが)。第1回会合には、NHKアナウンサーの有働由美子さんも参加。NHKの看板アナウンサーとしての苦労話なども飛び出し、大いに盛り上がったと記憶しています。

その後は、なかなか組織だった活動を行うところまではいかずといった状況が続きましたが、山元先輩が所属しておられる東京都墨田区の「更正剣道会」や、墨田区の合同稽古会に出稽古として参加させていただく形で稽古会を開催した



ヘルスケアの進化をデザインする。

神戸から、
医療・ヘルスケアの新しい領域へ。
シスメックスは、世界の人々の
健康を願う思いを
支え続けてゆきます。





り、忘年会を開催したりといった活動を続けています。春には隅田川の屋形船で花見会をしたこともありました。

現役の北野高校剣道部は、新たなステージに移行しつつあると感じています。95期の西田(旧姓・楠本)康子

先輩が母校に教員として戻り、剣道部の顧問として現役部員を熱心に指導されています。その成果も徐々に現れてきており、今年の夏は、インターハイの大阪府予選において男子団体で5位となり、近畿大会にコマを進めるという快挙を成し遂げました。近畿大会では、予選リーグで東洋大姫路高校、奈良大附属高校に敗れ、惜しくも予選リーグ敗退となりましたが、現役諸君の奮闘ぶりに接し、OB・OGとしても新たなモチベーションを与えられた気がします。

現在の六稜剣友会は、93期の小西康雄先輩が会長として会の活動の活性化に尽力されており、東京地区も95期の安田幸平先輩、太田垣崇先輩に、副会長として東京地区のリーダー役を務めていただいています。このような新た

な体制の下で東京地区でも盛り上がりを見せつつあり、昨年6月に開催した懇親会には、若手OB・OGも含めて30名ほどが集まりました。また、安田先輩が所属している渋谷の金王道場の稽古に参加させていただく形で稽古会も開催しています。

剣道には「交剣知愛」という言葉があります。剣を交えて真剣勝負を挑む相手を敬う心を養う中で、親しい人間関係が形成されていきます。また剣道を志す者にとっては、「生涯剣道」が一つの目標となります。老若男女を問わず共に稽古ができるのは、剣道の大きな特徴です。高校の部活動はいうまでもなく現役生諸君が主役ですが、これからも六稜剣友会としての活動を活発化し、現役からOB・OGまでの縦の絆を、より一層深めていきたいと考えています。

(村井正親 96期)



高野山真言宗宗務総長
真田坊蓮華定院住職

添 田 隆 昭 (78期)

TEL.0736-56-2233

交流レポート

関東在住の皆さんの活発な交流をご紹介します。同窓会、OB・OG会、同好の士の集まりなどの原稿をお寄せください。
genko@tokyo-rikuryo.com(詳しい投稿要領はP.14をご覧ください)

古社とビール工場見学会



5/13(土)、大雨の予報をものともせず、72期から93期までの11名が府中駅に参集し、大国魂神社へと出発しました。

1900年の歴史を持つ大国魂神社では参道のケヤキ並木や風格ある拝殿に目を奪われ、ちょうど出逢った結婚式のお二人に「雨降って地固まるのコメントしか浮かばんなあ」と小声で囁きながら朱の柱がオブジェのように並ぶ武蔵国府跡へ。旧街道では歩をゆるめプチ旅行感を楽しみました。

ビール工場は大雨にもかかわらず見学者で満員。醸造工程をビデオで学び、ラインの流れの速さに感心したあとは、お楽しみ「試飲コーナー」へ。新鮮なビールを片手におしゃべりの花を咲かせました。悪天候にもかかわらずご参加いただいたみなさん、ありがとうございました!

(渡辺邦子 86期)



73期・74期交流ゴルフ大会

世の中は「薬害エイズだ!年金破綻だ!国債残高240兆円だ!」という時代の1994年、73期と74期のゴルフ交流は、東京六稜



総会での出会いで始まり、幹事・増田忠義さん(73期)・武藤勝英さん(74期)両氏により始められました。

最初の頃は、グロス70台を出す出さないで競ったりしたのですが、20年以上も続けていると、今や90を、あるいは100を切る切らない、さらには最後まで回るのが目標に変わりつつあります。強者どもの舞台は房総CCに始まり、千葉セントラル、穴戸GC、富士CC出島・笠間、高坂、若洲GC、南総CC、鎌倉パブリック、姉ヶ崎CCなどなど、千葉・埼玉・茨木・東京の名門ゴルフ場を転戦しました。現在は、幹事・牧武志さん(73期)、草薙純介さん(74期)により、春・秋2回開催しています。(角田修一 74期)

PLANTEC

www.plantec-associates.co.jp

株式会社プランテックアソシエイツ

代表取締役会長兼社長 大江 匡 (85 期)



プランテック総合計画事務所 設計・監理「日産グローバルデザインセンター」

「愛と情熱」のフラメンコに魅せられて —— 松本良さん東京凱旋公演

夜の帳が下りた新宿の老舗タブラオで、この4月、フラメンコダンサー松本良さん(97期)の公演が行われました。飛び散る汗、激しく叩きつけるステップの響き、もの悲しくも情熱的なギターの音色…。魅惑の舞台を、同期97期の総勢24人で鑑賞しました。

スペイン・セビリヤ在住の松本さんは、大阪大学在学中に劇団四季などの日本のミュージカルに出演。卒業後すぐに渡西しフラメンコダンサーとして活躍し、1992年のセビリヤ万博では自身のカンパニーを率いて公演されています。フラメンコは高校時代から嗜んでいたのでしょうか？

「フラメンコに出会ったのは大学に入ってからです。僕は



東京ビエンナル・デ・アルテ・フラメンコ・コンクール優勝、スペイン・カディス市フラメンコ舞踊コンクール準優勝など受賞多数

もともと勉強より芸術が好きで、勉強だけの毎日だった北野3年間の反動なのか、大学時代はバレエ、フラメンコ、演劇などを片端から習



い、中でもフラメンコには本能が目覚めるように魅了されました。スペインでの活動はもう27年にもなり、近年、大阪や東京でも公演をしています」

温かな話しぶりの松本さんですが、舞台ではとても大きく見え、内面からほとぼり出る激しさに圧倒されます。松本さんにとってフラメンコとは、どんな存在？

「愛と情熱。人をどこまで愛せるか。生きることに情熱をどこまで注げるか。人間的で熱い生き様をしていることこそが、僕にとってのフラメンコです」(取材：97期 嶋武正郎)

■次回の日本公演は来春を予定



同期の友人とともに



あしたを、つなぐ

私たちは、人、街が大切にしているものを活かし
あした
未来につながる街づくりとともに
豊かな時を人びとと共に育み
社会に向けて、新たな価値を創造し続けます

横浜野村ビル



プラウドシティ塚口マークフォレスト



GEMS市ヶ谷

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ

野村不動産株式会社

常任顧問 中井 加明三 (81期)

東京 六稜趣味人

子供にも大人気!ヒーローのコスプレでマラソン



あれは7年前、1ヶ月後に30kmマラソンに出ることになり、「練習もしてないからタイムを狙うことはできないし、どうしようかな…」と考えた末、「仮装して走ってみよう!」と思い立ったのが最初でした。どうせやるなら、ということで子供たちに人気の仮面ライダーの衣装を自分で作り、その姿で走ったところ、沿道から予想をはるかに超える熱い応援が。中には、「握手して」とか「一緒に写真を撮ってもいいです



か?』というリクエストも。挙げ句の果ては、大会を主催した新聞からの取材を受け、翌日の新聞で一面に載ってしまったのが運の尽き。それからは年に1~2着の割合で新しい衣装を作成し、地元・千葉県のマラソン大会を中心に、色々な仮面ライダーに扮して走っています。
(野村恭史 96期)

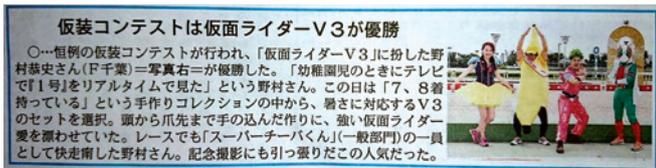
写生旅行を愉しみながら描く風景画

結婚前から自我流で絵を描いていましたが、娘が中学の時、学校で保護者向けの絵画サークルができ、参加して本格的に開始。風景画が好きで、ここ20年ほどは海外で写生旅行を楽しみました。毎年、展覧会に出展していますが、たまたま後輩の稲垣京子さん(94期)も同じサークルに所属していたことが判明してからは、北野の話にも花が咲いています。これ



からも、心がなごむような静謐な風景画をめざして、描いていきたいと思っています。

(江川隣之介 56期)



仮装コンテストは仮面ライダーV3が優勝

〇…恒例の仮装コンテストが行われ、「仮面ライダーV3」に扮した野村恭史さん(F千葉)＝写真右＝が優勝した。「幼稚園児のときにテレビで「1号」をリアルタイムで見た」という野村さん。この日は「7、8着持っている」という手作りコレクションの中から、暑さに対応するV3のセットを選択。頭から爪先まで手の込んだ作りに、強い仮面ライダー愛を覗かせていた。レースでも「スーパーチャージャーくん」(一般部門)の一員として快走した野村さん。記念撮影にも引っ張りだこの人気だった。

TCG 高松コンストラクショングループ (東証一部上場)



高松建設

高松テクノサービス(大阪)

高松エステート(大阪)

高松テクノサービス(東京)

高松エステート(東京)

住之江芸芸

JPホーム

金剛組

中村社寺

日本オーナーズクレジット

青木あすなる建設

あすなる道路

青木マリーン

東興ジオテック

みらい建設工業

エムズ

新潟みらい建設

島田組

68期 高松 孝之



TRY! NEXT CENTURY
次の100年へ

東京六稜俳壇

第3回



選者
大隅 徳保(65期)
オオスミ トクホ、本名・トクヤズ
俳人協会会員 日本文藝家協会会員



に鮮明になるであろう。「折鶴」は平和の願いの象徴、「一人ひとりの「ミクロ」の願いが作者の眼目であり、「原爆忌」の祈りである。

峯 和男(65期)

蛭狩り幼児らの声甲高し
颯爽と踊る乙女の浴衣かな

情景が分かる句であるが、作者の狙いは幼き思い出にある。「蛭」が少なくなつたこの頃、幼児らの声も少ない。作者には笹をもつて「蛭」を追いかけた昔が懐かしい。郷愁の「踊」である。「颯爽」に若さが見える。「踊」「浴衣」は季語。

大山利雄(56期)

(遺作)
洛北の花脊花折虫しぐれ

逝きし子と妻の待つらし大花野

利雄氏は東京六稜俳壇の生みの親である。氏は俳誌「草の花」の同人として、旅の中に抒情豊かな句を残してこられた。東京六稜俳壇の発足を見届け、残念乍ら今回の発行を前に逝かれた。残された「私の俳句史」より抄出した一句を鑑賞した。

「花香」も「花折」も洛北の時の名である。又、名前に違わない花野の地でもある。訪れた人には虫しぐれが別世界へと誘う。先立たれた妻と長男を探して迷い歩く大花野、句を前に作者のご冥福をお祈りした。

大塚ます子(65期)

名刹は寂と音なく桔梗咲く

白木槿夫なき庭の陽に映ゆる

「桔梗」は秋の七草の一、古来「さらこう」とも呼ばれ寂しさを詠まれた。人気のない「名刹」に作者を待つ「桔梗」の憂愁の色に惹かれる。二句目は「槿花目」と言われる「木槿」にありし日の夫を偲ぶ作者、夕日が美しい。

梶本きくよ(65期)

置き去りのたましひあらむ流灯会

老いてこそちちはは見ゆる體の味

生きものさえ捨て置かれる昨今、置き去られたお盆の「流灯」を愛う作者。今も、川岸に置き去りにされた流灯は弱く瞬いている。二句目、作者は関西出身であろう。膳の上の「體料理」、聞こえて来る天神祭の囃子が懐かしい。

高橋相子(65期)

海鳴りや桐の花咲く国境

鶴を折るミクロの願ひ原爆忌

紫色の「桐の花」は遠くから見ても美しい。それに「海鳴り」まで聞こえれば「国境」の思ひ出はさらに鮮明になるであろう。「折鶴」は平和の願いの象徴、「一人ひとりの「ミクロ」の願いが作者の眼目であり、「原爆忌」の祈りである。

福島有恒(68期)

音もなく霧の中より梓川

高原の静かな霧に菜がえだつ

冒頭の「音もなく」は、川霧の深さを感じさせる。小諸あたりの情景であろうか。霧が割れて日が出る。その日にさらさらと霧の底を流れる「梓川」、静謐な情景である。「高原」に相応しい信州、朝霧の中の「野菜畑」は清々しい。

横山民子(69期)

行き行けど灯の見えて来ず沢桔梗

戦火にも月を伝えて来ず外信部

秋の「沢歩き」は暮れるのが早い。「行けど行けど」の重ね言葉、「見えて来ず」に不安感が読み取れる。湿地に咲く「沢桔梗」が何となくさびし気である。風流な「外信部」であろう。「戦争の報道」に「今月の月」を含めて・・・

貞住昌彦(69期)

禅定の明けに降りこむ蟬時雨

縁先の闇と語れり生御魂

「禅定」は宗教的な「瞑想」、「瞑想」を終わった作者に鳴き立てる「蟬の声」、作者は「蟬時雨」といつ。清々しい木洩れ日に鳴く「蟬の声」も新鮮である。「縁先の闇」と語る「生御魂」、何もかも包含したような真の「闇」であろう。

橋爪信篤(79期)

露天の湯煙上がりて紅葉濃し

黄葉やモザイク模様ブナの山

「露天の湯」の白い「湯煙」が「紅葉」の枝をとりかかっている。山の「露天風呂」の風景もすでに晩秋であろう。「紅葉濃し」は秋の深まるのを詠んでいる。「黄葉」は「モザイク」と読む。「山毛榉林モザイク模様」に黄葉せり。

印・秀逸

<応募要領> ・応募句：当季雑詠 3句、優秀句を掲載・二重投稿はご遠慮ください ・締切：第4回(春季号)は2018(平成30)年2月15日
・応募方法：メールまたは郵送にて(できればメールで) ①作品、②氏名(卒業期)、③電話番号、④メールアドレスまたは住所を明記
メール送信先: haiku@tokyo-rikuryo.com 郵送先: 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング8階 株東京金融取引所気付 東京六稜会(俳句係)

水と人と自然をつなぎ、高品質の富士山の天然水をお届けします。

採水環境、品質、鮮度、安全性。すべてにおいて高いクオリティを追求し、新鮮で貴重なバナジウム入りの天然水を全国のお客さまにお届けしています。

地下水の活用で
地方創生を実現

水

水源・森林保全と
地場産業活性化を推進

国際的食品安全基準
「FSSC22000」認証を取得

自然

ウォーターサーバー
FRECIOS

dewo mini

[フレシヤス・デュオミニ]

もっと小さく、もっと自由に。



富士山の銘水
FRECIOS

<https://www.freacios.jp/dewomini/>



人



環境省主催シンポジウムにて
当社活動事例が紹介される



専門スタッフによる
徹底した品質管理と
放射性物質検査



地場産業とのタイアップや
商品の開発、環境保全活動、
地域振興活動への寄付



水と人と自然をつなぐ
富士山の銘水株式会社
76期卒業生 代表取締役社長 粟井英朗



【本店・工場】〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田4961-1
【東京本社】〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-1
www.fuji-meisui.co.jp

東京六稜倶楽部

毎月第3水曜日に開催される卓話とランチの会

六稜会館の設計者が語る「空」の重要性



母校の正門近く、一風変わったデザインが目を引く六稜会館。この会館を設計した建築家・竹山聖さん(85期)が第177回東京六稜倶楽部に登場。「<空っぽ>の想像力」と題し、“何も無い空間”こそが可能性に満ち、人を触発するという持論を、ご自身が手掛けた2つの寺院設計を例にわかりやすくお話いただきました。

たとえば浅草の「威光院」では、谷崎潤一郎の『陰翳礼讃』にみるような暗がりの美しさをコンセプトに、何も無い空間の奥に暗がりこそ美しい燦めきを放つ金箔の壁をしつらえ、声明の響きを意識して設計されたとのこと。



また新宿の「瑠璃光院 白蓮華堂」では、まるで宙に浮いたよう

なフォルムの中に庫裡、本堂、納骨堂を納めた建物の中央部に「空の間」を設けたことなどを、スライドを示しながらわかりやすく解説。会場では「ぜひ訪れてみたい」との声があちこちから上がっていました。



瑠璃光院 白蓮華堂

今後の東京六稜倶楽部のお知らせ

- 11月15日 北橋宏宏さん(69期)「人工知能は人間知能を超えるのか」
- 12月20日 小城勝相さん(78期)「食の科学あれこれ」
- 1月18日 ひろさちやさん(67期)「阿呆のすすめ」

東京六稜倶楽部 会場変更の お知らせ

「東京六稜倶楽部」は、2003年の発足以来、「ライオン銀座7丁目店」の6階クラシックホールで開催されてきましたが、同会場の改装計画により

2018年1月より1年間

右図に示す「THE BAGUS PLACE」に会場を変更いたします。会場の変更に伴い、**毎月第3水曜日を第3水曜日に変更します。**

※来年の予定表には、第3本曜日を東京六稜倶楽部とマークして下さい。



変更期間

2018年1月～12月 THE BAGUS PLACE バグースプレイス
銀座2-4-6 銀座 Velvia 館 B1F TEL 03-5524-3991

追悼



大山利雄さん(56期)

6月24日ご逝去 享年91歳

大山さんとの出会いは、彼が地方から東京転勤になり、私が社会人になった1968年。奥田義郎さん(44期)から「東京六稜会の幹事団に参加しろ」と呼び出され、大山さんと私は名簿作り、総会準備などを担う事務局を命じられた。大山さんは東京六稜会の第6代会長を務められ、また東京六稜倶楽部を立ち上げるなど、東京六稜会の根幹を創り上げたお1人。ロータリークラブなどを通じての社会活動にも熱心で、ノブレス・オブリージュの人だった。ご冥福をお祈りします。(黒岩暎一・75期)



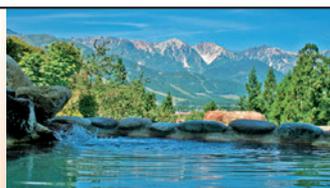
松本邦弘さん(70期)

6月25日ご逝去 享年78歳

松本さんは、2003年に始まった東京六稜倶楽部の事務局長を初回から13年間近く務められ、そのご苦勞は並大抵ではなかったかと思えます。大阪の高校が、東京でも毎月同窓会を開催して大勢の人が集っていると話すと、大抵の人が驚かれます。この会が続いていたからこそ、私も同窓生との関わりが生まれ、人生がさらに楽しく豊かなものになっています。後を引き継ぎ、同窓生の心の拠り所となるような東京六稜倶楽部をめざしますので、どうぞお見守りください。(牧 武志・73期)



この景色との出会いの旅



白馬随一の眺望！
長さ10mのパノラマ風呂、
かけ流しの湯、家族みんなで
入れる貸切風呂まで。
信州の食材が主役！
里山バイキングとあわせて
お楽しみくださいませ。



自家源泉の宿 白馬姫川温泉
白馬ハイランドホテル
81期卒業生 代表取締役 掛谷 嘉 則

お問合せ



0120-898-153
TEL 0261-72-3450

〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村北城21582
http://www.hakuba-highland.net

— KITANO Cafe —

若手主催交流会KITANO Cafe第3回が開催されました

PRとは社会全体との関係づくり

若手主催で行う交流会KITANO Cafeがスタートして1年半、この5月に第3回目が開催され、盛会となりました。その様子をご報告しましょう。講師は、NHKを経てPR業界に転身した尾上玲円奈さん(111期)。参加者は70年代から120期代まで幅広く、28人が会場を訪れました。

講演は、まずPR(Public Relation)の本来の意味からスタート。日本では広告や宣伝と捉えられがちですが、国際的にはPRとは社会全体との関係づくり、合意形成をあらゆる、チャンスの時だけでなくピンチの時にも使われる概念のこと。実際に日本でも、選挙戦や企業の不祥事、M&A、



外資企業の日本市場参入、ベンチャー企業支援業務まで、幅広い分野で活用されているのだそうです。



また、尾上さんが大学で受けた授業のこと、いろいろ考えるきっかけとなった事件のこと、新卒で入社したNHK時代のこと、そして大学時代の教授との縁で転身することになった今の仕事について——次々と展開する話題に、またたく間に講演の時間は過ぎていきました。

参加者の大半はそのまま恒例の二次会へ。講演の時刻に間に合わず、二次会だけに参加する方もいらっしや、名刺交換や情報交換を交えての賑やかな交流会となりました。

KITANO Cafeは随時催行しますので、皆さまもぜひ、一度のぞいてみてください。お待ちしております!

(KITANO Cafe担当: 111期 塚本渉・小山真澄)

大切な資産運用に「くりっく」を

外貨預金よりFXで
効率よく。

為替証拠金取引(FX)

くりっく365

お預かり資産は取引所が全額保全で安心
長期運用なら外貨預金より有利
透明性の高い価格を提供

日経225やNYダウで
資産運用。

株価指数証拠金取引

くりっく株365

決済期限なしでじっくり投資できる
現物株と同様に配当が受け取れる
ほぼ24時間・祝日も取引可能

くりっく365に
メキシコペソ
新登場

詳しくは



「安心」「透明」「信頼」の公的な取引所
株式会社 東京金融取引所

代表取締役 太田省三 (第77期)

くりっく365、くりっく株365は、相場の状況等により、差し入れた証拠金以上の損失が発生する可能性があります。取引をされる場合は、取引会社から交付される契約締結前交付書面の内容を十分理解した上でご自身の判断で取引を行ってください。

母校からの風

北野高校校長・恩知先生が
東京六稜倶楽部に登場



8月の東京六稜倶楽部は大変な盛り上がりでした。登壇されたのは、北野高校新任校長・恩知忠司先生。開口一番、「今年の新入132期生360人は全員、北野高校を第一志望として入学を果たしました。私も北野高校を第一志望として校長に就任しました。快哉!」。参加者に思わず笑みがこぼれます。続いて新校舎に触れ、「今の校舎、平成校舎は“シュツとした”建物。“シュツとした”生徒を育てるのにふさわしい校舎です。昭和校舎と違い、平成校舎には曲線が多用されています。四角い構造だと逃げ隠れしにくい、曲線が多いと隠れられる。そもそも北野という学校は生徒を管理しようと思っていません」。聴いている卒業生は、フムフム、なるほどと感心しきり。

次は「数字で紐解く北野高校」と題して、数字をキーに北野の歴史、現状、近未来像についてのお話。「144、39721、64、1.15、13、32」といろいろな数字が示され、最初の「144」は創立144周年、最後の「32」は恩知校長が32代目、その他の数字についても北野との関連を話され、会場からは「へ～そなん知らなかったなあ!」の声。ユーモアをたっぷり交えながらの講演は、恩知校長の北野に対する熱い思いがひしひしと伝わってきました。

「北野では周りがすごいから自分の基準が高くなる、そんな学校づくりを進めます」とのお話、大拍手が巻き起こったことはいうまでもありません。(小西尚武・73期)

■当日の講演録は次のサイトで閲覧できます。

http://www.rikuryo.or.jp/activity/tokyo_club/
または「東京六稜倶楽部」で検索

委員会からのお知らせ

東京六稜会の特約店が増えました

- 特約店では、東京六稜会会員証をご提示ください。会員証は毎年秋号に同封されます(秋号は年会費を納入した人にだけ交付)。



メンバーズサロン つるハ

- 特典/東京六稜会キープボトル利用可能
食事とお酒を楽しむもよし、バーとして語らいを楽しむもよし。赤坂のメンバーズクラブに「東京六稜ボトル」がいつも用意されています。二次会などにぜひご利用ください。
東京都港区赤坂3-12-18 第8荒井ビル赤坂館3F
TEL: 03-3583-5835



※混み合うこともありますので事前のご連絡をおすすめします。

「東京六稜会60年のあゆみ」は

第1弾 12月31日まで

第2弾 3月31日まで

申し込みを受け付けています。

今回お送りした会報秋号と「60年のあゆみ」は、年会費を納入した方だけにお送りしています。第1弾・第2弾の期日までに納入した方には別途ご送付しますので、同期の皆さまや知人の方にぜひお声がけください。各期MLでもぜひ取り上げてくださいますようお願いいたします。



レストラン スペインクラブ銀座

- 特典/グラスワイン人数分サービス
1階は気軽なバル、2階は同窓会などにもぴったりのレストラン。銀座ライオン裏口の斜め前なので、東京六稜倶楽部帰りにもどうぞ。
東京都中央区銀座7-10-5
デュープレックス銀座タワー7/10
TEL: 03-6228-5338



ワインショップ ワン・フォア・オール

- 特典/グラスワイン人数分サービス
外房線御宿駅から車で5分のワインショップは、賀好弘志さん(78期)の経営。ゴルフや釣り、海水浴帰りに立ち寄ってみては。不定期休なので事前にお電話を。
千葉県夷隅郡御宿町御宿台205-14
TEL: 0470-62-6798



投稿のお願い

- 東京六稜会報では、皆さまからの原稿を募集しております。
- ◆交流レポート・東京六稜趣味人コーナー 写真数枚と400文字程度の記事
 - ◆写真投稿コーナー 写真1枚と50文字程度のコメント
 - ◆投稿要領 次の投稿専用メールアドレスへお送りください。
genko@tokyo-rikuryo.com

協賛広告のお願い

- 会の運営は、年会費及び寄付・協賛広告を礎としております。ご賢察賜りご協力をお願い申し上げます。
- | | | |
|---------|----------------|-----------------|
| 協賛広告掲載料 | 1ページ 200,000円 | 1/2ページ 100,000円 |
| | 1/4ページ 50,000円 | 1/8ページ 30,000円 |
- 広告の相談及び受付 財務委員会 tokyo@rikuryo.or.jp

時代を超えて受け継がれる、
永久不滅の輝き。



SAISON PLATINUM AMERICAN EXPRESS® CARD

セゾンプラチナ・アメリカン・エクスプレス®・カード 年会費20,000円(税抜)/Invitation Only

ご入会・お問い合わせ先

セゾンプラチナ・アメリカン・エクスプレス・カードデスク

☎ 0120-700-940 (9:00~18:00)

※「アメリカン・エクスプレス」はアメリカン・エクスプレスの登録商標です。このカードはアメリカン・エクスプレスのライセンスに基づき、(株)クレディセゾンにより発行されたものです。
※本紙記載の情報は2017年8月1日現在のものです。変更になる場合もございますので、あらかじめご了承ください。





BOOKS & MAGAZINES 旭屋書店

株式会社旭屋書店 代表取締役社長 早嶋 茂 (87期)

六稜合氣会 (東京)

会長 黒岩 暎一 (75期)
副会長 西田 美博 (81期)
事務局 塚本 渉 (111期)



定期会のお知らせ

12月8日(金) 19時より (※銀座ライオン7丁目店2階にて)
連絡メール: 塚本 渉 aak.0840@gmail.com

北野高校合気道部稽古会: 2017年7月15日

東京六稜会役員・常任幹事一覧 ※平成29年9月現在

会長	理事兼事務局長	74期 小島 英成	79期 山上 芳昭	87期 田上 妙子	94期 伊藤 朋	97期 羽石 彩子
77期 太田 省三	84期 藤村 吉男	74期 松山 正之	79期 成 本 洋子	88期 伊藤 敦子	95期 谷垣 建有	98期 祐谷 昌彦
理事兼副会長	監事	74期 深山 欣秀	80期 稲田 正俊	88期 濱名 一実	95期 山根 仁志	98期 栗津 律子
兼事業委員長・倶楽部事務局長	68期 高 端 正直	74期 原口 久恵	80期 今井 美登里	89期 白石 俊己	95期 白垣 達哉	111期 片山 真澄
73期 牧 武志	六稜同窓会担当	75期 黒岩 暎一	80期 小糸 栄	90期 河野 次郎	96期 村井 正親	111期 塚本 渉
理事兼会報委員長	72期 船戸 愛正	75期 谷川 達夫	81期 西田 美博	91期 篠田 真美	96期 岡崎 尚行	117期 藤崎 梢
77期 永井 司	顧問	75期 清水 知子	81期 中井 加明三	91期 谷島 由紀子	96期 田中 真由子	
理事兼財務委員長	66期 志 甫 溥	75期 田部 一恵	84期 三條 場洋子	92期 羽田野 達夫	96期 平田 倫子	
79期 坂田 東一	常任幹事	76期 伊藤 要一	85期 谷藤 慶一	92期 中川 恵子	96期 蓑原 律子	
理事兼会員委員長	65期 山根 義夫	76期 河北 美紗子	85期 安原 富美子	93期 小國 敏和	97期 坂口 誠	
82期 三谷 秀史	66期 西尾 大次郎	77期 細見 裕子	86期 高木 洋	93期 植田 久子	97期 嶋武 正郎	
理事兼総務委員長	71期 蛭川 克	78期 橋口 喜郎	86期 渡辺 邦子	94期 大鐘 美明	97期 杉本 哲人	
94期 伊豆原 孝	73期 橋本 操	78期 原田 知可子	87期 田中 和明	94期 稲垣 京子	97期 藤井 康広	